

# 当初予算

令和7年度は子育てと定住にさらに力を入れ、こども医療費の無償化、給食費の一部無償化を進めるとともに、「たんばささやま暮らしのとりこ」をキャッチフレーズに、若い世代をはじめ多くの方が丹波篠山で幸せに暮らせるよう取り組んでいきます。

また、「丹波篠山国際博 日本美しい農村、未来へ」を開催し、1年を通じてオール市民参加、いつでもどこかで何かを見ていただけるような取り組みを展開していきます。

そして、この丹波篠山国際博を通じて、市民みんなが丹波篠山市の魅力を見つけて誇りを持ち、丹波篠山に住んでよかった、住み続けていて幸せだと実感できるように、市民が輝くまちづくりを進めます。

問い合わせ 財政課 ☎552-5114

## シンボル事業

### 丹波篠山国際博

— 日本美しい農村、未来へ — (92,234千円)



「大阪・関西万博」に合わせ、4月1日から2026年3月31日まで、市内各地で開催する「丹波篠山国際博—美しい農村、未来へ—」。丹波篠山が世界に誇る日常の食、文化芸術、自然環境、四季の美しい風景など多くの魅力を発信し、日本美しい農村を未来の世代へつなぎ、地方の課題を解決する企画です。

4月1日から5月6日までは、篠山城大書院での光の演出「丹波篠山 春の夜まつり2025」と、篠山城三の丸南広場において丹波篠山の美味しいものを集めた「うまいもんお城横丁」を開催します。また、年間を通じて、「食の聖地 丹波篠山グルメ感謝フェア」の実施や、貸切列車「丹波篠山国際博号」を運行し、国内外からの観光客を誘客します。

このほか、生物多様性や景観保全、農都の取り組み等、丹波篠山市が地方都市のリーダーとして積極的に進めている事業を紹介するパネル展示コーナーや、桶ッ卓球世界大会や、山城サミットなど、市の誇る取り組みを市内外の方々に広く周知して、丹波篠山国際博を盛り上げていきます。



## 高校生までの医療費助成

(89,751千円)

7月から、小学4年生から中学3年生までのこども医療費助成について、通院にかかる所得制限を撤廃し、中学3年生までのこども全員の通院・入院の保険診療にかかる医療費を無償化します。

また、10月から、高校生等の医療費助成については所得制限を設けずに、通院の保険診療にかかる医療費の助成(自己負担額は1医療機関あたり1回800円上限を月2回まで)を実施します。

## 給食費保護者負担分一部無償化

(69,042千円)

学校給食費の無償化に向けた第一歩として、令和7年度は、小学校、中学校給食費の半額を補助し、子育て世帯の経済的支援を図ります。



## 主要事業(子育ていちばん)

### 城東こども園新築整備

(286,014千円)



旧城東中学校跡地に建設する城東こども園は令和9年度の開園に向けて、現在設計業務を進め、今年度は新築工事に着手します。

### 妊娠・出産包括支援事業

(52,200千円)

「My 助産師制度」による産前産後ケアは、女性が安心して子どもを産み育てることができるよう、きめ細やかな寄り添い支援を継続して実施します。

また、令和7年度から、国の出産・子育て応援給付金に上乗せし妊娠時に10万円、出産後に10万円のトータル20万円を支給し、第3子以降は出産後20万円を出産祝金として支給します。

このほか、生後1カ月児に対する健康診査(1カ月児健診)の費用助成や産後ケアの実施場所を拡充するなど、妊娠期から出産後までの切れ目のない支援の充実と経済的負担の軽減を行います。



### 夏季期間中の遠距離通学バス運行

(22,508千円)

日中の暑い中に徒歩で下校する児童の負担軽減を図るため、7月から9月の間で一定の通学距離以上となる児童を対象に下校時のバス等の運行を行っています。近年、暑さの期間が長期化していることから、運行期間を昨年度から5日間延長して、上限を35日として運行を継続実施します。

## 主要事業(農都・魅力向上)

### ふるさと応援寄付金

(寄付受入見込額：650,000千円)

令和6年度の丹波篠山ふるさと応援寄付金(ふるさと納税)の受入額は過去最高の約5億2千万円となりました。これからも丹波篠山ならではのヒット返礼品の開発や、寄付をいただいた方へのきめ細やかな対応とともに、丹波篠山の魅力を最大限にPRすることで「丹波篠山ふるさと応援寄付金」への協力を呼びかけていきます。



## 主要事業(地域とくらし)

### JR篠山口駅周辺整備・活性化

(1,185千円)

J R篠山口駅周辺まちづくり会議が策定した「J R篠山口駅周辺まちづくりビジョン」を受けて、駅舎・駅前空間のリニューアルに向けた篠山口駅前整備の基本構想の策定や、地域の皆さんと一緒に進めていくための体制整備などを進めていきます。



### デマンドバスの運行

(95,968千円)

丹波篠山市では、一人ひとりが安心して暮らすことができる公共交通の実現をめざしています。路線バスを補完する誰もが利用しやすい移動手段として、利用者の予約に応じて自宅近くから目的地を結んで運行するデマンドバスを令和6年11月から市東部地域において導入しました。市西部地域は10月からデマンドバスを導入します。

### ワクワク農村未来プランの推進

(19,300千円)

丹波篠山で暮らす幸せを実感できるようなワクワクする農村の実現を図る取り組みに対し、1自治会当たり上限10万円を補助します。これまで69自治会に活用され、令和7年度はこれまでに活用されていないすべての自治会で活用いただき、ワクワク農村の実現を図ります。



### 四季の森運動公園グラウンド照明新設

(36,069千円)



屋外スポーツ施設として熱中症対策を推進し、夜間も快適に施設を利用できる環境を整えるため、照明設備(ナイター)新設工事を行います。

### 多文化共生事業

(608千円)

オンライン医療通訳を活用し、外国人市民が言語に不安を感じることなく、安心して医療を受けられる体制を整備することで、誰もが安心して住みやすい多様性が生かされたまちづくりにつなげます。

### 地元就職の促進

(1,000千円)

従業員の奨学金返済を支援する制度を新たに導入する市内企業に対し、企業側の負担を軽減するため、「奨学金返済支援制度導入促進奨励金」を新たに実施します。

## 主要事業(農都・魅力向上)

### 自伐型(環境創造型)林業の支援

(15,893千円)



### 道の駅の整備

(255,018千円)

「こんだ薬師温泉ぬくもりの郷」に設置予定の道の駅は、令和8年度中のオープンをめざして、駐車場の増設および24時間使用可能なトイレへの改修や農産物加工所改修など、オープンに向けた施設整備を実施します。

### 八上城跡整備基本計画策定

(7,250千円)

今年度から八上城跡整備基本計画の策定を行います。計画では、まず登山道整備や各種サイン看板の統一などを盛り込み、誘客や魅力ある山城の整備につなげていきます。

そのほか、このような事業に取り組みます



- ユニバーサルな観光地づくり (2,590千円)
- 伝統産業の振興(陶の郷の改修) (141,919千円)
- 鳥獣被害防護事業 (70,928千円)
- 担い手支援事業 (32,952千円)

新たに、仕事として森に関わる人づくりの充実を図るため、森林に負荷の少ない「自伐型(環境創造型)林業」として、これに取り組む林業者の支援を行います。さらに、市、自伐型林業者など林業事業者や民間業者、そして森林所有者や山がある自治会等の連携が必要なため、調整を行う人材「森づくり連携員」を配置して、更なる森にかかわる人づくり、仲間づくりを推進します。

また、森づくりの専門知識と経験をもつ「森づくり政策官」が森林所有者等の森林整備相談にのるとともに、市内林業事業者の指導育成に努め、市民参加で命をはぐむ丹波篠山の森づくりを進めます。

### 農業遺産・農都のめぐみ米の推進

(13,250千円)

近年の高温少雨により黒大豆の種子の生産量に影響が及んでいます。丹波篠山発祥「丹波黒」の産地として、優良な種子を未来に引き継ぐため、種子生産農家に対しスプリンクラーなどのかん水装置の導入を支援します。

令和6年度に環境負荷の低減や生きものに配慮した栽培方法で生産されたことを市が認証する「農都のめぐみ農産物認証制度」を創設しています。環境や生きものに配慮した米づくりに取り組む農家に対し、10アール当たり2,000円の補助金を継続するとともに、市内米穀

店、株式会社B. BLINK、JA丹波ささやまと連携を密にし、農都のめぐみ認証米の生産、販売拡大につなげます。



### 丹波篠山の家推進事業

(17,067千円)

丹波篠山の気候風土・文化に適した意匠、色彩、材料などの要件を満たす住宅の建築工事費などの助成のほか、丹波篠山の家モデルハウスの内覧やセミナー、移住交流ツアーなどモデルハウスを活用したイベントを実施します。

また、不動産事業者と連携して丹波篠山の家に限定了分譲地販売を行い、市内産業の活性化や丹波篠山の家普及促進を図ります。

令和7年度 一般会計、特別会計、公営企業会計予算額 (単位：千円、%)

会計名	令和7年度当初予算額	令和6年度当初予算額	増減額	前年度対比
一般会計	25,424,000	23,354,000	2,070,000	8.9
国民健康保険特別会計	4,894,478	5,119,750	△ 225,272	△ 4.8
事業勘定	4,676,707	4,901,485	△ 224,778	△ 4.6
直営診療所勘定	217,771	218,265	△ 494	△ 0.2
後期高齢者医療特別会計	818,560	759,848	58,712	7.7
介護保険特別会計	5,222,248	5,285,874	△ 63,626	11.8
介護保険事業勘定	5,202,551	5,268,460	△ 65,909	△ 1.3
介護サービス事業勘定	19,697	17,414	2,283	13.1
特別会計	10,935,286	11,165,472	△ 230,186	△ 2.1
水道事業会計	3,179,530	3,221,702	△ 42,172	△ 1.3
下水道事業会計	5,053,932	5,138,356	△ 84,424	△ 1.6
公営企業会計	8,233,462	8,360,058	△ 126,596	△ 1.5
合計	44,592,748	42,879,530	1,713,218	4

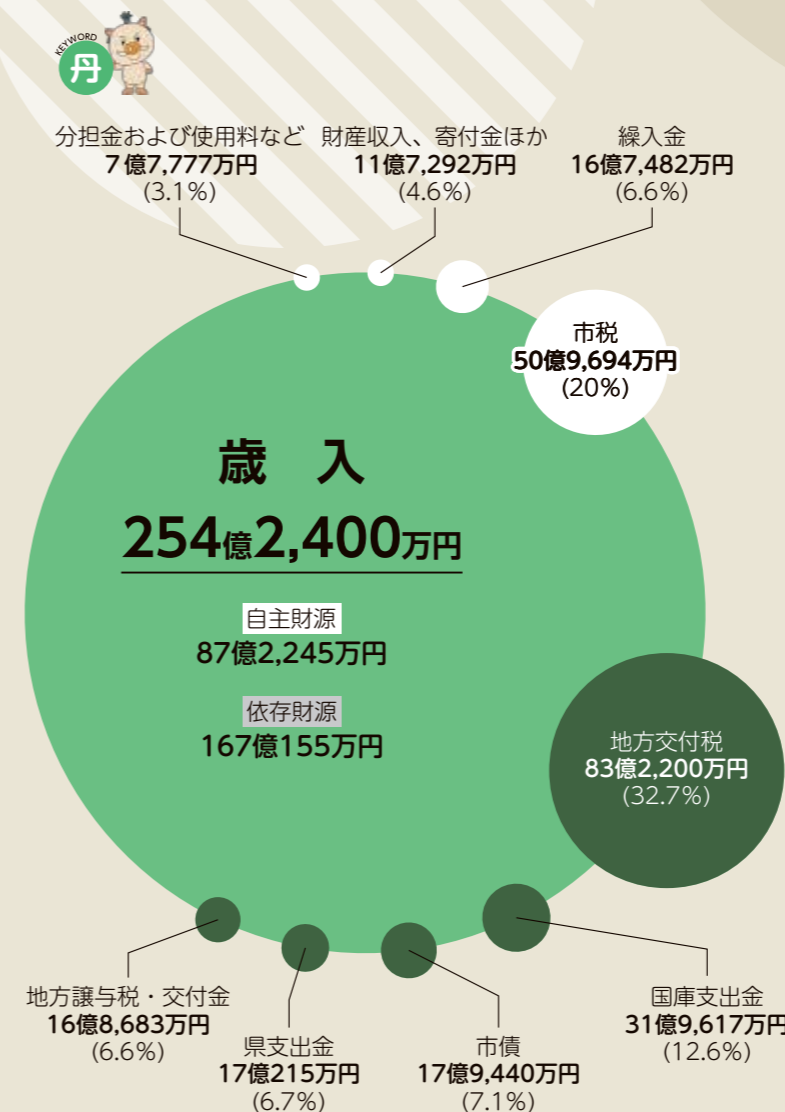
# 予算の概要をお知らせします

令和7年度は丹波篠山国際博の開催や、道の駅整備事業、城東こども園整備事業など、丹波篠山市の魅力在未来へつなげる取り組みに重点を置いた予算となりました。さらに、子ども医療費の無償化や給食費の半額補助など、子育て世代がより住みよいまちをめざした予算としています。

問い合わせ 財政課 ☎552-5114

## 【今年度の予算のポイント】

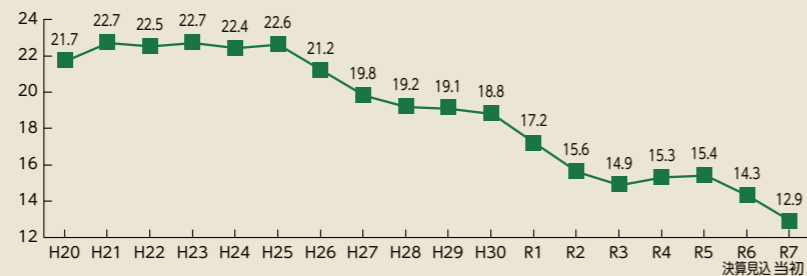
令和7年度の一般会計の予算規模は254億2,400万円で、前年度と比較すると20億7,000万円(8.9%)の増額となりました。主な増額の要因は、給与改定や地域手当を新たに支給することなどによる人件費4億7,711万円、道の駅整備事業で2億5,502万円、城東こども園整備事業で2億4,789万円、西紀防災無線デジタル化工事による防災行政無線費で1億9,560万円の増額などによるものです。



## 財政指標で見る丹波篠山市の姿

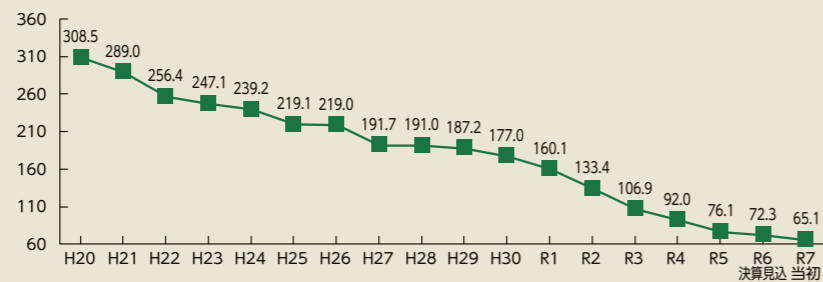
### 実質公債費比率

市の借入金の返済額の大きさを、市の財政規模に対する割合(3カ年平均)で表したものです。25%を超えると早期の健全化を求められます。



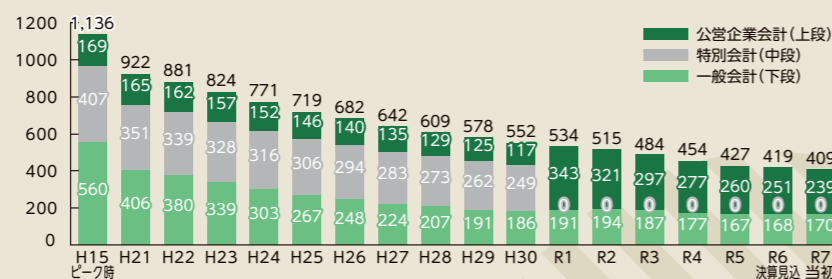
### 将来負担比率

市の財政規模に対する、将来支払う可能性がある負債の比率です。350%以上で早期の健全化を求められます。



### 市債残高(全会計)

市債とは、建設事業を行うため、国や金融機関から借入れ、今後負担する必要があるお金のことです。



## 用語の解説

- 【歳入】**
- **市税** 市民の皆さんから納めていただくお金
  - **繰入金** 会計間や基金(貯金)などから、資金を受け入れるときのお金
  - **地方交付税** 地方自治体が一定水準の行政サービスを提供できるよう、国から交付されるお金
  - **国庫・県支出金** 市が行う仕事に対し、国や県から支給されるお金
  - **地方譲与税** 国の税金から、一定の基準で配分されるお金
- 【歳出】**
- **民生費** 福祉の増進に使うお金
  - **総務費** 行政全般の事務に使うお金
  - **衛生費** 市民の皆さんの健康づくりや、ごみ処理などに使うお金
  - **公債費** 市の借金を返済するお金

